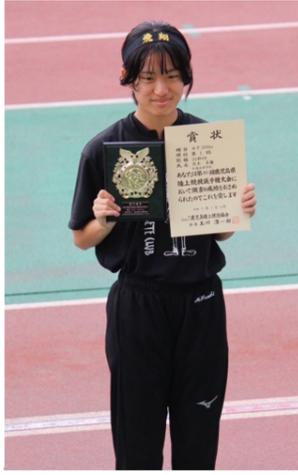


春夏の生徒の活躍

陸上競技部が大活躍 剣道 野球 書道 美術も成果

〔陸上競技部〕
 県高等学校陸上競
 技大会 女子200
 M 第1位 花木美
 優(1-5・川内南
 男子5000M W
 第2位 中村颯(3-3・
 清水中) 女子5000M
 W 第2位 松元心季(3
 1-2・谷山北中) 女子4
 ×1000M R 第2位 田
 嶋結月(3-1・伊集院中)
 (3-2・皇徳寺中) 森
 山裕基(3-4・伊敷中)
 西重歩(3-2・国分南
 中) 有田蒼甫(2-3・
 川内南中) 男子1100M
 H 第5
 位 稲満
 希(2-1
 ・国分
 南中)
 男子40
 0M H
 第5位
 稲満希
 男子走幅
 跳 第5位 早瀬翔(3-
 2・伊集院中) 男子三段
 跳 第2位 早瀬翔 女子
 4×400M R 第5位
 田嶋結月 岡本莉央 花木
 美優 徳留真心(3-2・
 桜丘中) 男子1000M
 第6位 森山裕基 男子円
 盤投 第6位 宮内惇希
 (3-5・東谷山中) 女



川内南中 花木美優 女子1000M 第3位 岡本莉央



「たくさんの応援に心から感謝した。1位になり最高に気持ちよかった」陸上競技部 早瀬翔君(左) えがお健康スタジアム(熊本市)

男子5000M W 第2位 田嶋結月(3-1・伊集院中) 木下夏実(3-6・甲南中) 岡本莉央(2-3・川内南中) 花木美優 女子1000M 第3位 岡本莉央

MATSU HINAKO 松陽菜子のクイズタイム!

Q 海抜156メートルに位置し、山地に囲まれた松陽高校ですが、海岸からの直線距離はどの位でしょうか?
 ①約10km
 ②約30km
 ③約50km
 ※答えは、4面にあるよ。



逆瀬川瑠加さん (3-8)緑丘中出身

現代アート

壊だったり、生きていくだけこの世に... 逆瀬川さん(左)と枕崎市長前田祝成さん



受賞作品「私たちは加害者にならなければ生きていけない」と逆瀬川さん(左)と枕崎市長前田祝成さん

本校の注目の生徒をクローアップする「煌めく(きざらめく)松陽生」今回は、現代アートの国際コンクールである第4回枕崎国際芸術賞展において、「私たちは加害者にならなければ生きていけない」(平面部門)で、優秀賞(3位)に輝いた逆瀬川瑠加さん(3-8)だ。同展は、平成28年度から三年に一回開催、今回は国内外から834点が寄せられ、82点の入賞・入選作品(平面58点、立体24点)が選ばれた。7月21日から9月15日の会期で枕崎市文化資料センター南演館で展示されている。

Q 作品のコンセプトは何ですか?
 A 「私たちは常に誰かに危害を加えているかもしれない」ということ。その行為が原因であり、しかしその行為も人間の幸福のためにしたものであり、自然破

「1位になりうれしい。ラスト2000Mまで気持ちをきざらずラストスパートで先頭に出られた」。陸上競技部 中村颯君(左) えがお健康スタジアム(熊本市)

Q 創作のきっかけはなんですか?
 A 私は始めに考えたものからですが、今回も制作中に元々考えていたものがだんだん気に入らなくなり、もう油作品はこれで最後(しよう)と思っていたので、記憶に残るものを作ることができました。高校生活で学んだ技術を活かすことが出来たと思います。これを自信として大学受験に挑もうと思います。

〔濱田愛華〕

「清時代の呉昌碩の臨書で、線の強さと連綿を意識しました」書道部 脇田椿さん

第63回南日本七夕書道展 南日本芸術学園賞 杉本玲彩(1-4・谷山北中)

第71回県美展 県美術展 新人賞 大平柚杏(3-8・武中)

全九州総合文化祭 写真部門 優秀賞 富森里奈(2-8・川内中央中)

「最後の大会で優秀選手賞を受賞しうれしいです。得意技である面返し胴を決められた」剣道部 久留楓音さん 県総合体育センター体育館

第80回鹿児島県陸上競技選手権大会 女子4×1000M R 第2位 田嶋結月 木下夏実 岡本莉央 花木美優 女子2000M 第1位 花木美優 女子ジュニアB1000M 第1位

「全国の高校生記者と新聞制作に奮闘」

交流新聞は各都道府県の代表生徒約6名の班ごとにB4サイズのレイアウト用紙に、二面分の新聞原稿を作成する。始めは緊張の面持ちだった本校生徒も他校

交流新聞作成に臨む本校新聞同好会の立野記者(奥中央)

大橋を渡り到着した。普通寺市民会館で全国各地の代表の新聞展示を閲覧し、そのレベルの高さに驚嘆した。その後、会場の四国学院大学に移動し、各班に分かれて交流新聞の作成の打ち合わせを行った。

2日目は開会式の後、11のコースに別れて交流新聞の取材を行った。各コースごとにテーマが設定され、香川県内各地をバス等で回ったが、訪問先では常に高校生記者からの質問が飛び交い、時間いっぱいまで質疑応答が続いた。

その夜は、自分の担当の記事の執筆を宿舎に戻ってから取り組んだ。多くの生徒たちが睡眠時間を惜しみながら、原稿執筆に取り組んだ。正にプロの新聞記者

完成度が高く、生徒たちの顔にも達成感が伺えた。かがわ総文を振り返り、本校生徒は「初めて出会った人たちと交流新聞を作ることが最初は不安だったが、チームのみんながとても優しく、いろいろなことを教えてくれてとても助かった」「ハードスケジュールの中、慣れない環境で初めて出会う全国の高校生記者たちと取材し香川を知ることができた。今回学んだことを松陽スピリットで活かしたい」と語った。

〔立野美吹・内野心春・堂園結衣〕

久留楓音(3-1・市来中) 第53回鹿児島市地区公立普通高校野球大会 第2位

〔書道部〕 第74回南日本書道展 秀作賞 脇田椿(3-2・紫)

第74回南日本書道展 秀作賞 脇田椿(3-2・紫)

第71回県美展 県美術展 新人賞 大平柚杏(3-8・武中)

全九州総合文化祭 写真部門 優秀賞 富森里奈(2-8・川内中央中)

※個人名に付記した学校名は、出身中学校名です。